

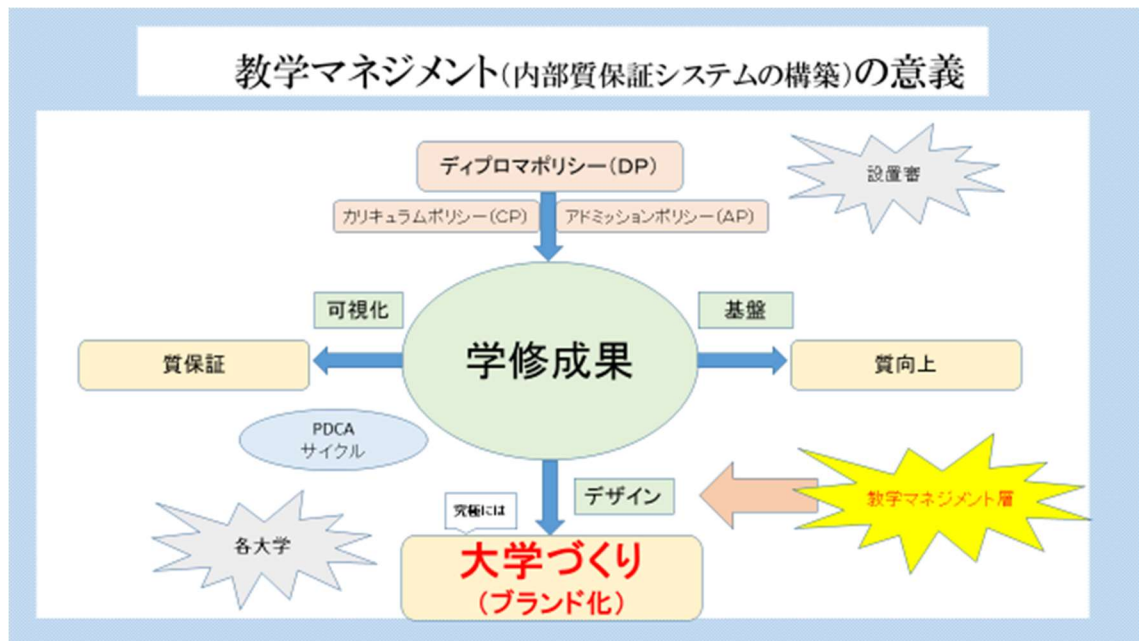
第2回「教学マネジメント実践講座」(オンライン開催)

—大学のブランドづくりを目指して—

開催趣旨

◇求められる内部質保証システムの構築

2020年1月に中央教育審議会から「教学マネジメント指針」が発表されました。すでに義務化された3つのポリシーの実質化を図るために大学の教育成果や学生の学修成果の見える化(可視化)を中核とした内部質保証システムの構築が求められました。その意義は、内部質保証としてのPDCAサイクルの確立を通して各大学の大学ブランドづくりであり、そのためには教学マネジメント層のしっかりした大学デザインづくりが重要な課題となってきます(図参照)。すでにいくつかの大学では教学マネジメントに係る先進的な改革事例を発表していますが、全体的には多くの大学がこれから取り組むべき課題となっています。



◇常に大学改革を先取りする本協会の講座

本協会では、2014年度から大学改革を先取りする形で各種の教員養成講座を企画・実施してきました。まず、教育の質的転換を掲げ学生の学修を変える能動的学修(アクティブラーニング)の推進を目指した2012年の中央教育審議会答申に合わせて2014年度には「能動的学修の教員研修リーダー講座」を開設しています。翌年度には、同講座修了者を対象とした「能動的学修の研究会」(後にFD実践研究会、2021年度からはFD教職員実践研究会に改称)を、また2019年度からは中央教育審議会の専門職業大学答申(2016年)に関連させて質の高い実務家教員を養成するねらいで「大学実務家教員養成講座」を実施しています。

今回の講座は、第3弾の養成講座であり、主に大学マネジメント層を対象とし教学マネジメント力を身につけ、それぞれの大学のブランド化を図ることにしました。

◇なぜ教学マネジメントが必要か？

今回の「教学マネジメント指針」は、直接的には2018年の中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」を受けて策定されたものです。「質」と「多様性」をキーワードとした答申のうち教育の質向上を内容とした指針となっています。各大学は、内部的には学修者本位の教育の実現を図るための教育改善が求められています。つまり、教学マネジメントの確立です。また、外部的には、社会に対する説明責任を果たしていく教学マネジメントが求められています。

また、今期の中央教育審議会大学分科会では各質保証のための設置基準の根本的見直しや認証評価の機能強化が議論されています。教育の質保証に結びつく教学マネジメントがシステムとして確立した教学運営がより強く求められてきますが、そのためには、とくに学長、副学長、学部長、部課長等の教学運営に関わる者の責任が大きいと言わざるを得ません。本講座は、こうしたことから教学マネジメントの幹部層を対象に企画されたものです。

昨年度に引き続き、オンラインによる開催を予定しています。

プログラム構成

1. 講座の目的・対象

本講座は、学修成果・教育成果の可視化及び教育改善のPDCAサイクル（内部質保証）の確立を通して、大学づくりのための教学マネジメントを促進させることを目的としています。この目的を達成するために、本講座では、①大学運営の活性化や教育の実践力を高め、新たな大学づくり（ブランド化）を進める上で、②学長をはじめ副学長、学部長・学科長又は部課長等の、③大学の教学運営に責任を負う方に必要な資質・能力・技能を磨く講座と位置づけています。

2. プログラムの内容と特色

本講座は、新型コロナウイルスの感染状況も考慮して、今年度はすべてオンラインによる実施となります。2日間にわたり、初日には「学修成果・教育成果の可視化に向けて」、二日目は「大学制度の正しい理解と経営・教学改革」と、それぞれテーマを設定して行われます。単なる講義だけではなく、本協会のこれまでの講座で培われたアクティブ・ラーニングの方法も取り入れ、グループ別の小自由討議やワークショップを可能な限り活用する構成となっています（日程表参照）。

本講座の特色は、次の3点にあります。

- (1) 学内で教学マネジメントを進める責任者を対象としており、将来の幹部養成にも寄与できる。
- (2) 講義や事例発表のみならず、参加者同士の意見交換や交流を重視したアクティブな学びが体験できる。
- (3) 担当する講師陣は、長年、大学の経営や運営に携わった理事長・学長のほか、高等教育研究の第一線で活躍されている方々である。

1日目 テーマ「学修成果・教育成果の可視化に向けて」

タイムテーブル	講義内容	
10:00～10:15	開会挨拶、講座の趣旨説明 「教学マネジメント改革のねらいとは？」	講義
10:15～11:30	「内部質保証システムの実践事例」	講義
11:30～12:30	グループ小自由討議	演習
12:30～13:30	昼食	
13:30～14:45	「教学マネジメント基盤としてのFD・SD及び教学IRをどのように進めるか？」	講義
15:00～16:30	グループ・ワークショップ テーマ「教学マネジメント改革を推進するためには？」	演習
16:30～17:15	グループ発表	
17:15	閉会	

2日目 「大学制度の正しい理解と経営・教学改革」

タイムテーブル	講義内容	
10:00～10:10	開会挨拶、講座の趣旨説明等 「教学マネジメント改革のねらいとは？」	講義
10:10～11:30	「大学制度を正しく理解する」	演習
11:30～12:30	グループ小自由討議	
12:30～13:30	昼食	講義
13:30～14:45	「大学の経営及び教学運営の改革事例」	演習
15:00～16:30	グループ・ワークショップ テーマ「大学改革を効果的に実行するためには？」	
16:30～17:15	グループ発表	
17:15	閉会	

開催要項

1. 日 時

1 日目 2022 年 10 月 29 日（土）10：00～17：15

2 日目 2023 年 01 月 28 日（土）10：00～17：15

2. ホスト会場

一般財団法人 全国大学実務教育協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-2-12 第三東郷パークビル二階

*外部の運営協力者も予定しています。

3. 講 師

清水 一彦（山梨大学 理事・副学長）

合田 隆史（前尚絅学院大学 学長、元文科省生涯学習政策局長）

小川 勤（静岡福祉大学 教授） 他

4. 定 員

30 名

5. 参加費（消費税込み）

・両日（2日間） 8 万円

・1 日のみ 5 万円

※お一人、資料代等を含む

6. 修了証

講座受講者には修了認定証（1 日のみも可）を交付します。

7. 参加申込・締め切り

・お申込みにつきましては、別紙の 参加申込要項 をご覧ください。

締め切り 2022 年 10 月 14 日（金）

8. 問い合わせ

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-2-12 第三東郷パークビル二階

電話：03(5226)7288（小宮・金子）

■参加申込要項

- ① 下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、**2022年10月14日(金)**までにFAXまたはメールでお申込みください。なお、メールの場合には下記項目を含む内容で、講座専用アドレスまでお願いします。
- ② 受付は先着順とし、定員(30名)になり次第締め切らせていただきます。
- ③ 申込書を受付後、参加者宛にあらためて手続方法のご案内書をお送りします。

第2回「教学マネジメント実践講座」 【参加申込書】

★ご希望の講座にチェック☑をしてください。

<input type="checkbox"/> 両日	<input type="checkbox"/> 1日目のみ	<input type="checkbox"/> 2日目のみ
-----------------------------	--------------------------------	--------------------------------

参加者氏名	勤務先	所属(学部・学科等)
ふりがな		
		主な担当分野・領域
テキスト送付先 ご住所(1.勤務先 2.自宅) 〒 —		
電話番号		E-mail
大学教育歴	年	大学教員の方は現在担当している部署(管理職等)と今後の予定
大学管理運営(管理職)経験 有 無 (○を)	年	

※2名以上でご参加の場合は、参加申込書をコピーしてお使いください。


※本情報は厳正に管理し、①名簿の作成 ②協会からの文書の送付 ③協会からの問合せのみに使用します。

※修了認定証の作成に必要となりますので、ご氏名は楷書でご記入をお願いします。

お申込み・お問い合わせ専用メールアドレス E-mail: kouza@jaucb.gr.jp

締切 2022年10月14日(金) FAX 03-3263-8633

お申し込み
お問い合わせ

 一般財団法人 全国大学実務教育協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-2-12

第三東郷パークビル二階

TEL:03-5226-7288 FAX. 03-3263-8633

E-mail : kouza@jaucb.gr.jp